

労働環境が女性就業率に及ぼす影響

<はじめに>

人口減少社会を迎え、労働力人口の減少が経済成長力の低下につながる事が懸念されています。そこで、女性の就業率向上、特に有配偶者の就業率向上に向けて、未婚女性と有配偶女性の就業率の差の要因について、労働環境の違い(市内勤務、市外勤務)が女性就業率に及ぼす影響に着目し、考察を行いました。

「市内勤務率」=居住市(区)内で就業している人の割合 (例:津市在住で働いている人のうち、津市内で働いている人の割合)
※市内勤務率が高い地域は、自宅から近い職場で働くことができる労働環境にあると言える

<考察のまとめ>

【三重県の市内勤務率】

- 有配偶女性は他の属性と比べて市内勤務率が高い
- 未婚の場合は、男性と女性でほとんど差がみられない
- 男性は未婚と有配偶による差が小さく、女性は未婚と有配偶による差が大きい
- ⇒女性は結婚後、自宅から近い職場で働く人の割合が高くなる

該当p
p2

【福井県の市内勤務率との比較】

- 福井県は男性と女性による差はみられるが、未婚と有配偶による差は小さい
- 有配偶女性の市内勤務率は、三重県と福井県でほぼ同水準
- 有配偶女性以外の属性では、三重県の市内勤務率は福井県より概ね低い
- ⇒三重県は福井県と比較し、居住市外で働いている人の割合が高い
- 特に未婚女性の市内勤務率が福井県と比べて低い
- ⇒三重県の未婚女性は居住市外で働いている人の割合が高い

p3

◆結婚後、居住市内での就業を希望した場合、就業できる労働環境にあるかどうか

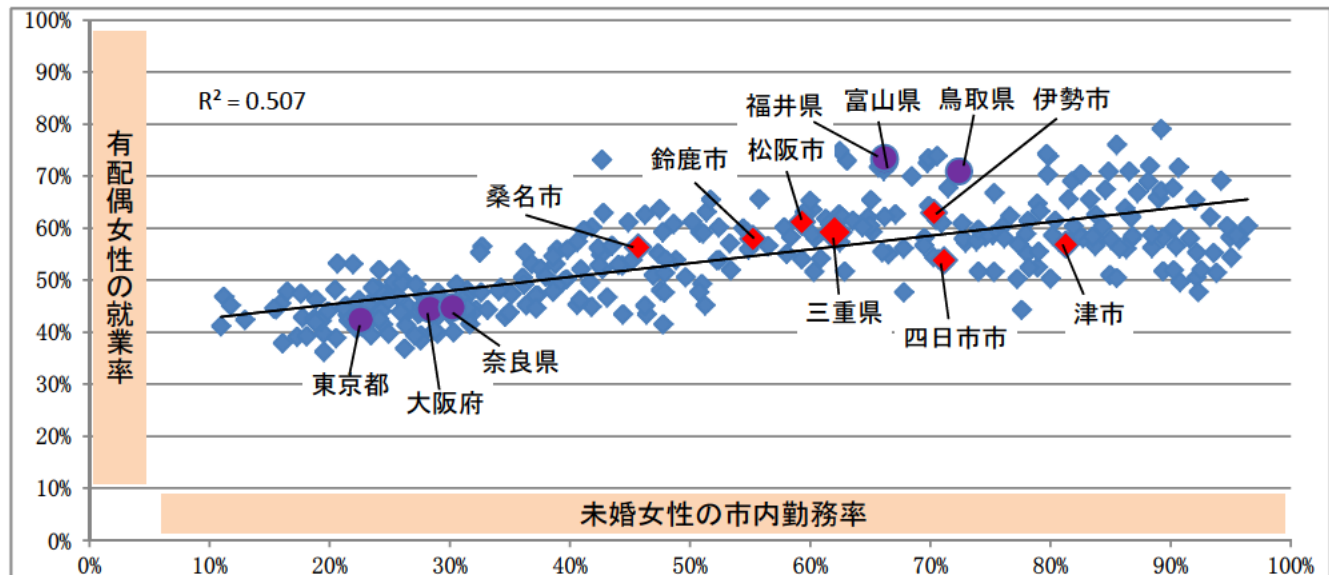
【就業率との関係】

- 「未婚女性の市内勤務率」が低いと「有配偶女性の就業率」も低い、傾向がみられる
- ⇒未婚女性が居住市外で働いている割合が高い地域は、有配偶女性の就業率は低い傾向にある
- ◆居住市内で就業できる労働環境であるほど、女性就業率は高くなると考えられる

p4

- 桑名市や鈴鹿市は未婚女性の市内勤務率が低く、有配偶女性の就業率も比較的低い
→居住市内で就業できる割合を高めることで、女性就業率が向上する可能性がみられる
- 四日市市や津市は未婚女性の市内勤務率が高いが、有配偶女性の就業率が低い
→専業主婦志向が強い、配偶者の所得が高い、など他の要因が考えられる

【図1】未婚女性の市内勤務率と有配偶女性の就業率(35歳～39歳)



<出所>「平成22年国勢調査」(総務省)を基に統計課で作成 (以下同様)

1 三重県の市内勤務率

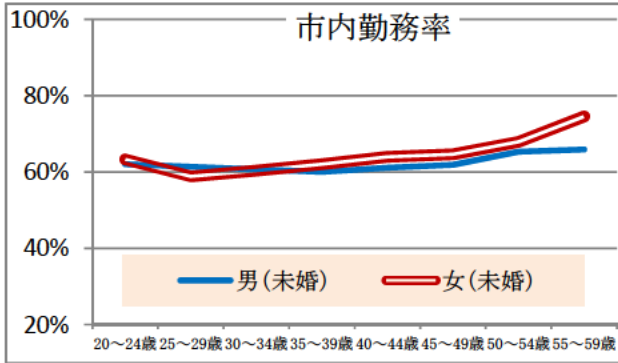
自分が居住する市町内で就業する人の割合(=居住市内での就業割合=市内勤務率)について、性や年齢、配偶関係が異なることで、どのような違いがみられるか考察を行いました。

(1) 性別による差

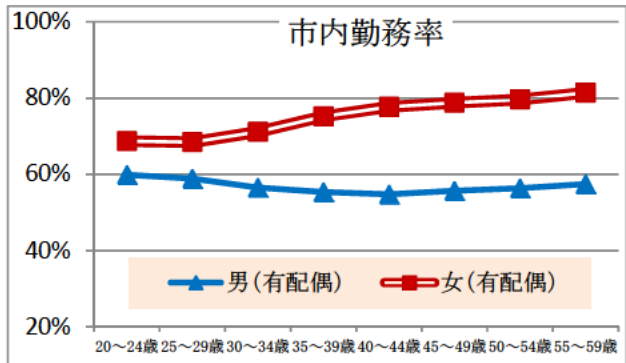
未婚の場合、男性と女性による差はほとんどない。

有配偶の場合、男性と女性による差がみられ、特に30歳代以降でその差が大きい。

【図2-1】未婚(三重県)



【図2-2】有配偶(三重県)

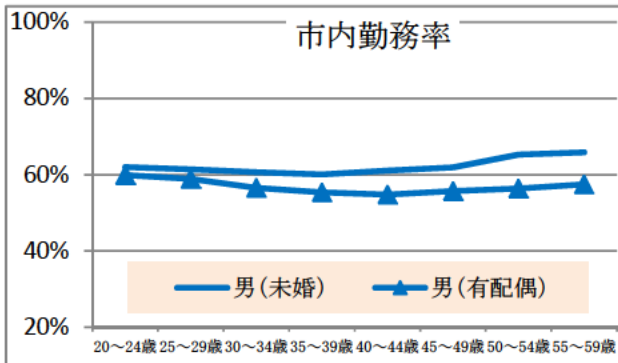


(2) 配偶関係別による差

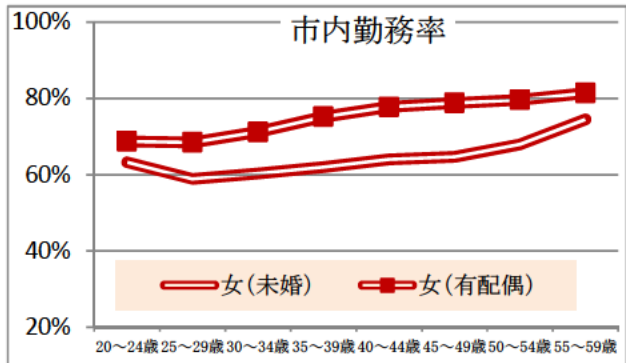
男性の場合、未婚と有配偶による差は比較的小さい。

女性の場合、未婚と有配偶による差がみられ、特に30歳代や40歳代でその差が大きい。

【図2-3】男性(三重県)



【図2-4】女性(三重県)

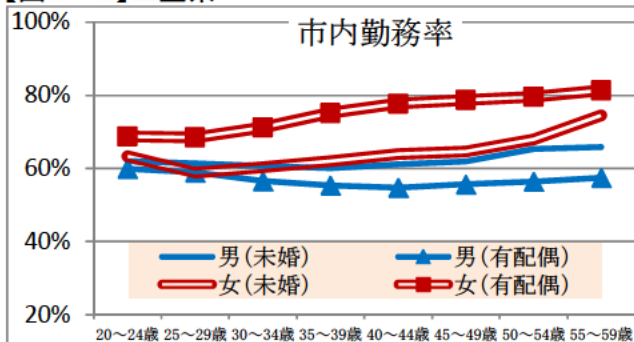


【表1】市内勤務率(三重県)

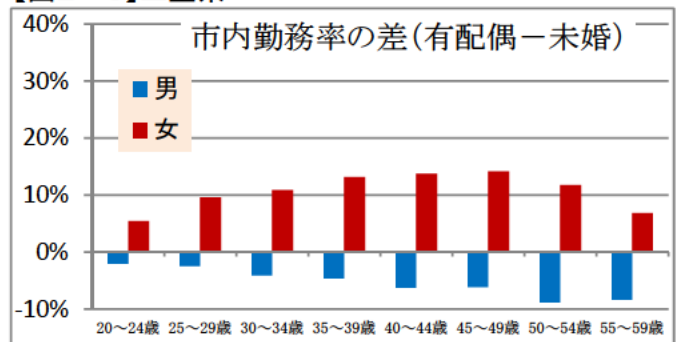
	男		女	
	有配偶	未婚	有配偶	未婚
20~24歳	59.9%	62.0%	68.8%	63.3%
25~29歳	58.9%	61.4%	68.5%	58.9%
30~34歳	56.5%	60.7%	71.2%	60.3%
35~39歳	55.4%	60.1%	75.2%	62.0%
40~44歳	54.8%	61.1%	77.7%	64.0%
45~49歳	55.7%	61.9%	78.8%	64.6%
50~54歳	56.4%	65.3%	79.6%	67.9%
55~59歳	57.5%	65.9%	81.4%	74.5%

差(有配偶-未婚)	
男	女
-2.1%	5.5%
-2.5%	9.6%
-4.1%	10.9%
-4.7%	13.1%
-6.3%	13.8%
-6.2%	14.1%
-8.9%	11.7%
-8.4%	6.9%

【図2-5】三重県



【図2-6】三重県



2 福井県の市内勤務率

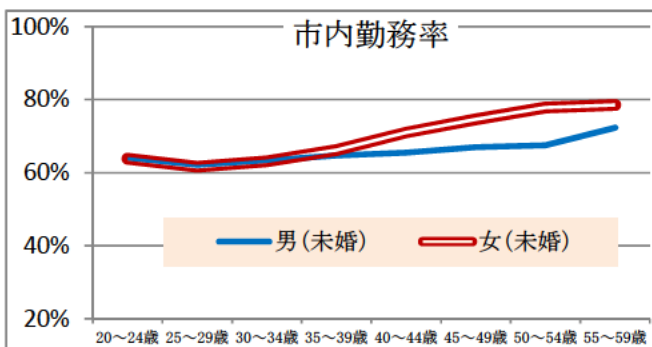
自分が居住する市町内で就業する人の割合(=市内勤務率)について、三重県と同様に、女性就業率の高い福井県の考察を行いました。

(1) 性別による差

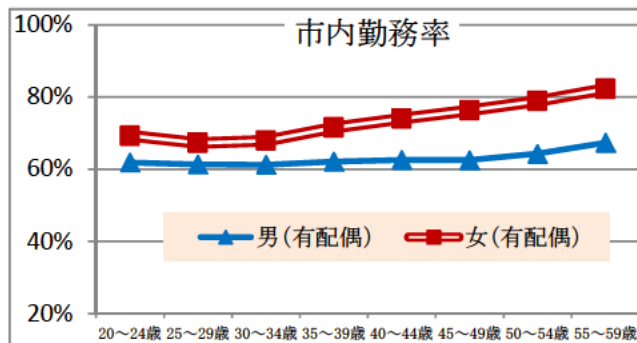
未婚の場合、40歳代以降では男性と女性による差がみられる。

有配偶の場合、男性と女性による差はみられるが、三重県と比べその差は小さい。

【図3-1】未婚(福井県)



【図3-2】有配偶(福井県)

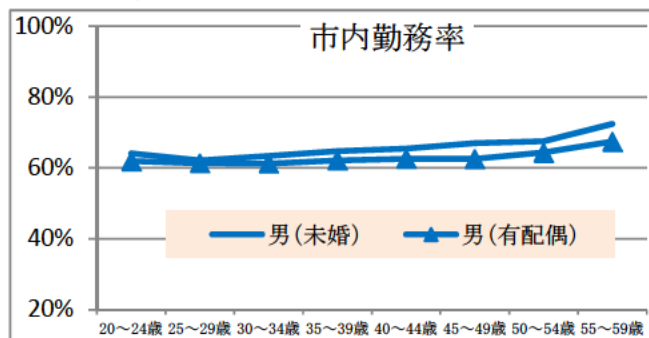


(2) 配偶関係別による差

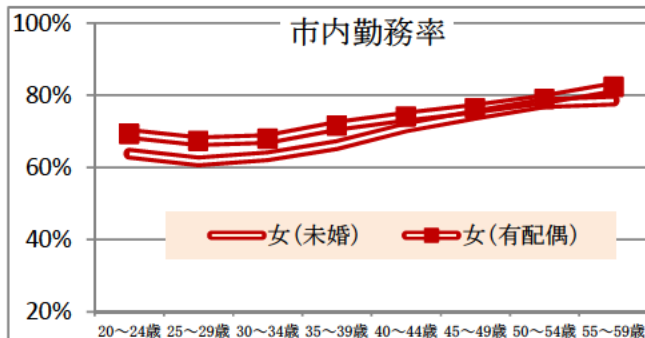
男性も女性も、未婚と有配偶による差は非常に小さい。

特に女性において、三重県では未婚と有配偶による差がみられたが、福井県ではほとんど差がみられない。

【図3-3】男性(福井県)



【図3-4】女性(福井県)

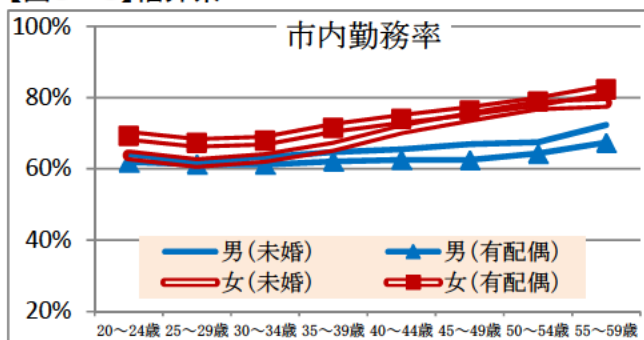


【表2】市内勤務率(福井県)

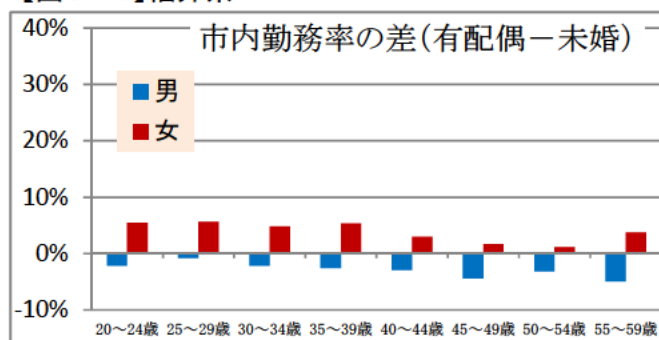
	男		女	
	有配偶	未婚	有配偶	未婚
20~24歳	61.9%	64.1%	69.3%	63.8%
25~29歳	61.3%	62.1%	67.3%	61.6%
30~34歳	61.2%	63.4%	67.9%	63.1%
35~39歳	62.1%	64.7%	71.5%	66.2%
40~44歳	62.6%	65.5%	74.0%	71.0%
45~49歳	62.5%	66.9%	76.3%	74.6%
50~54歳	64.3%	67.5%	78.9%	77.8%
55~59歳	67.4%	72.3%	82.2%	78.5%

差(有配偶-未婚)	
男	女
-2.2%	5.4%
-0.8%	5.6%
-2.2%	4.8%
-2.5%	5.3%
-2.9%	3.0%
-4.4%	1.7%
-3.2%	1.1%
-4.9%	3.7%

【図3-5】福井県



【図3-6】福井県



3 市内勤務率と就業率との関係

有配偶女性の就業率と市内勤務率の関係性の有無を確認するため、各都道府県における年齢階級別の就業率と市内勤務率について考察したところ、以下のとおりでした。

(1) 有配偶女性の就業率の上位県及び下位県

有配偶女性の就業率が高い県は、未婚女性との就業率の差が小さく、市内勤務率の差も比較的小さい。
有配偶女性の就業率が高い県は、未婚女性の市内勤務率が高く、就業率と市内勤務率に関係性がみられる。
35～39歳の女性については、その関係性が特に強くみられる。

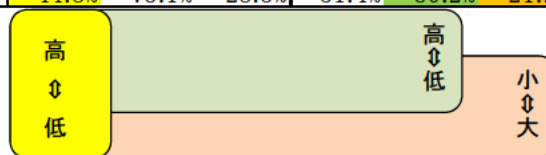
【表3-1】総数

	＜就業率＞			＜市内勤務率＞		
	有配偶	未婚	差	有配偶	未婚	差
福井県	57.0%	57.1%	-0.1%	78.4%	65.3%	13.1%
富山県	55.6%	57.9%	-2.4%	77.9%	66.7%	11.2%
鳥取県	55.3%	54.7%	0.6%	80.9%	73.0%	7.9%
三重県	49.3%	55.5%	-6.1%	79.5%	62.7%	16.8%
東京都	40.6%	50.0%	-9.4%	53.5%	26.6%	26.9%
大阪府	39.6%	52.5%	-12.9%	58.1%	31.6%	26.5%
奈良県	38.4%	52.5%	-14.1%	59.7%	33.6%	26.0%

【表3-2】35～39歳

	＜就業率＞			＜市内勤務率＞		
	有配偶	未婚	差	有配偶	未婚	差
福井県	73.5%	80.9%	-7.4%	71.5%	66.2%	5.3%
富山県	73.0%	80.8%	-7.8%	72.0%	66.2%	5.8%
鳥取県	70.9%	79.3%	-8.4%	76.3%	72.4%	3.9%
三重県	59.2%	77.4%	-18.2%	75.2%	62.0%	13.1%
東京都	41.8%	65.1%	-23.2%	43.5%	23.2%	20.3%
大阪府	44.5%	70.4%	-25.9%	52.0%	28.3%	23.7%
奈良県	44.8%	73.1%	-28.3%	51.4%	30.2%	21.2%

※常住地不詳は除外して作成



(2) 有配偶女性の就業率との相関

「未婚女性の市内勤務率」、「未婚と有配偶女性の市内勤務率の差」ともに、有配偶女性の就業率との相関がみられる。「未婚女性の市内勤務率」との相関が比較的強く、35～39歳で最も相関が強い。

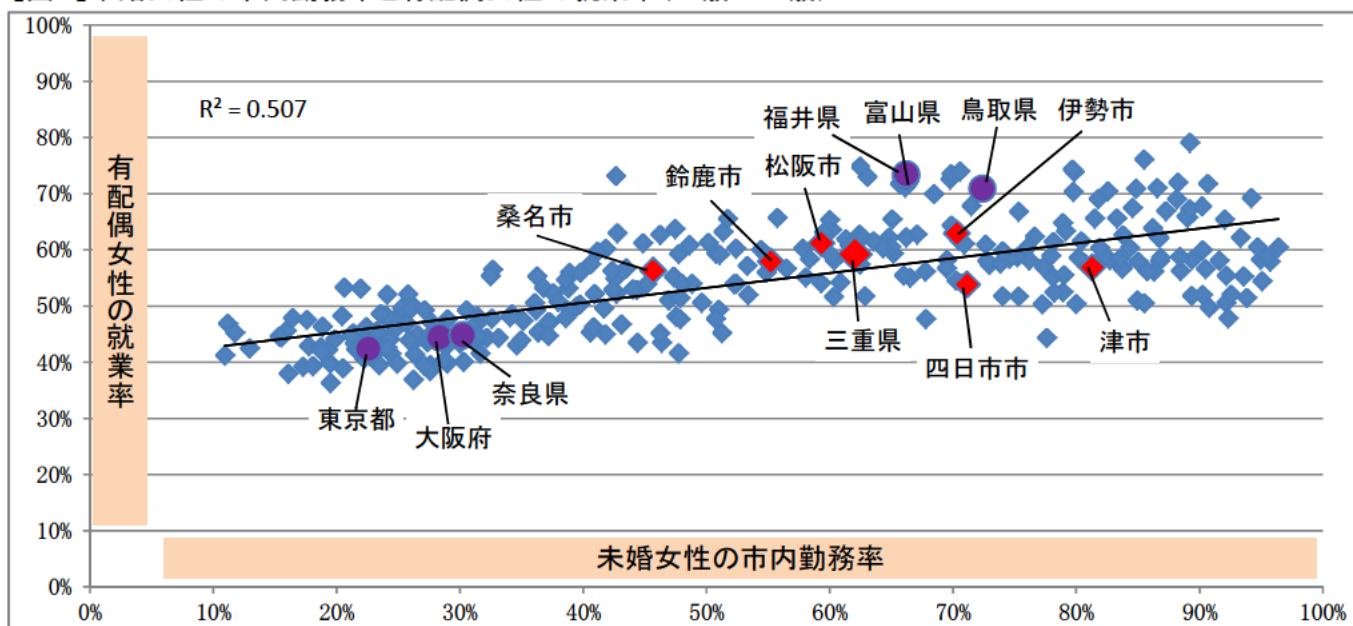
【表4】有配偶女性の就業率との相関

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
未婚女性の市内勤務率	0.576	0.578	0.679	0.712	0.704	0.686
市内勤務率の差	0.499	0.497	0.571	0.648	0.651	0.644

(3) 未婚女性の市内勤務率と有配偶女性の就業率

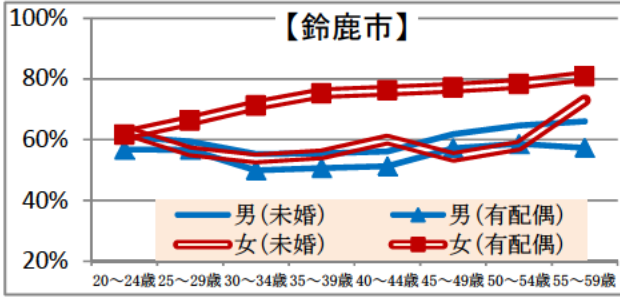
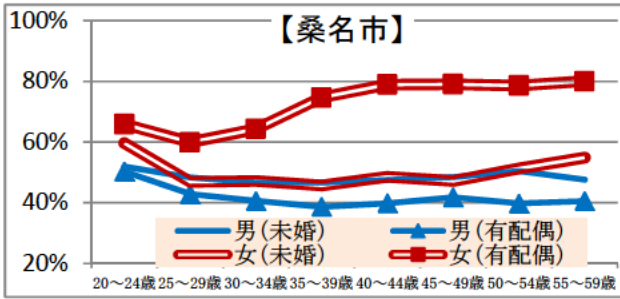
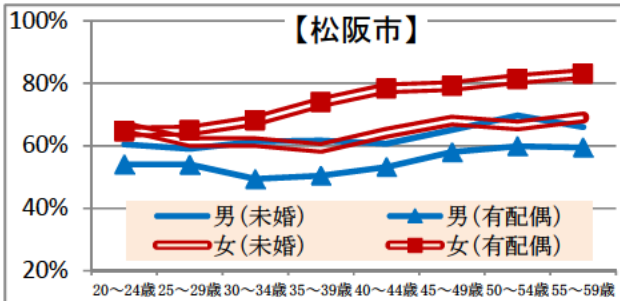
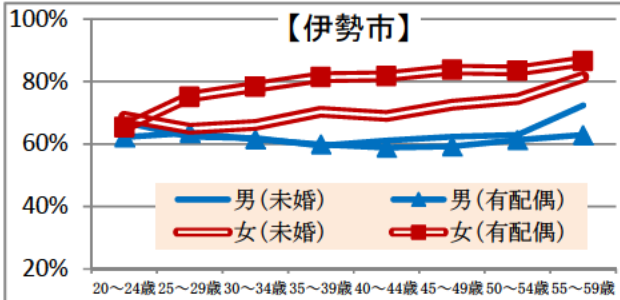
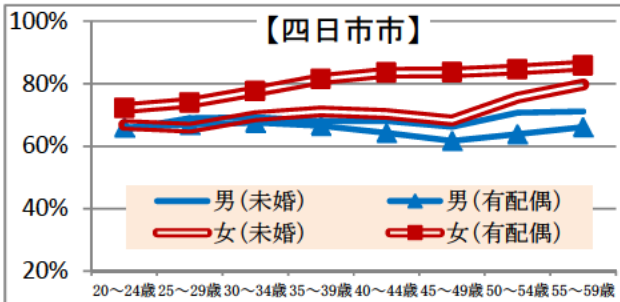
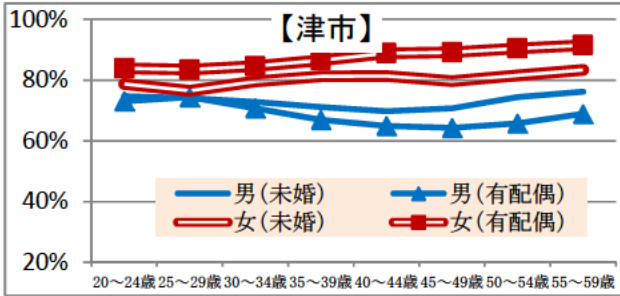
奈良県や大阪府など、未婚女性の市内勤務率が低い地域は、有配偶女性の就業率も低くなっている。
福井県や富山県は、未婚女性の市内勤務率も高いが、就業率の高さにはその他の要因も考えられる。
伊勢市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の4市では、市内勤務率が高くなるほど、就業率も高くなっている。
津市や四日市市は、市内勤務率の高さほど就業率が高くない、その他の要因で低くなっていると考えられる。

【図1】未婚女性の市内勤務率と有配偶女性の就業率(35歳～39歳)



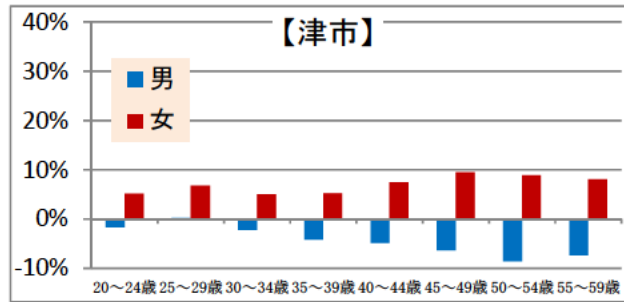
(参考1) 県内各市(津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市)

<市内勤務率>

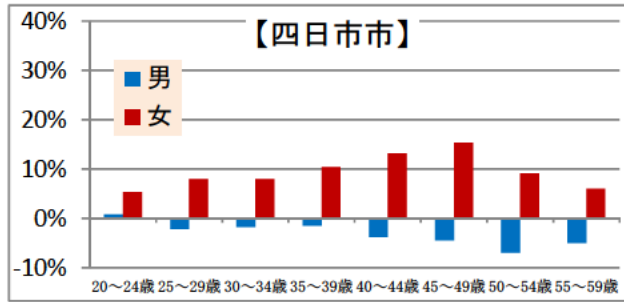


<市内勤務率の差>

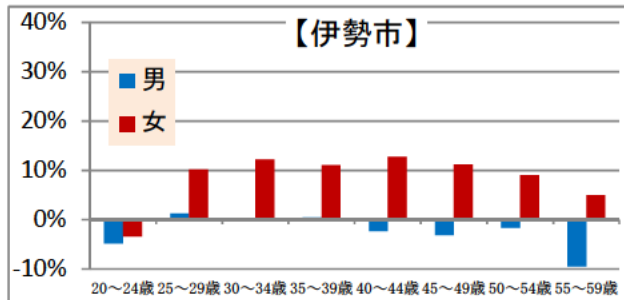
有配偶女性の就業率
35~39歳



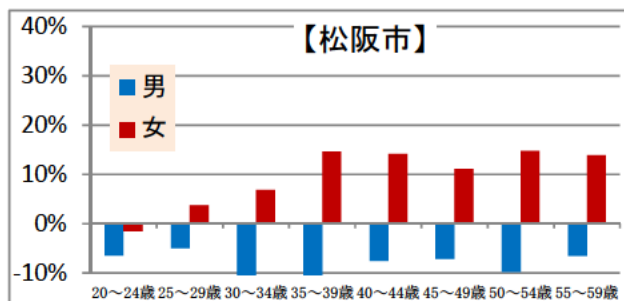
56.9%



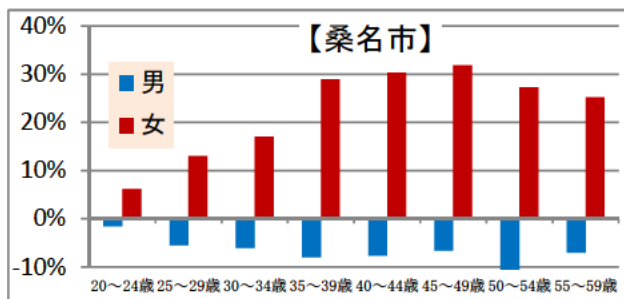
53.8%



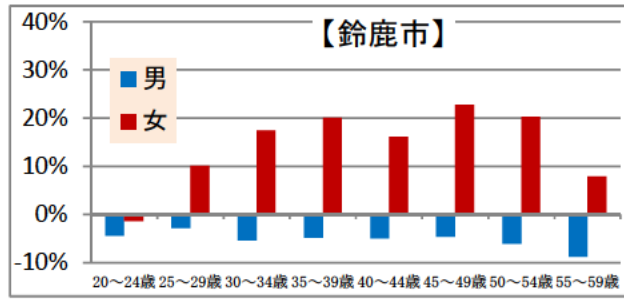
62.9%



61.2%



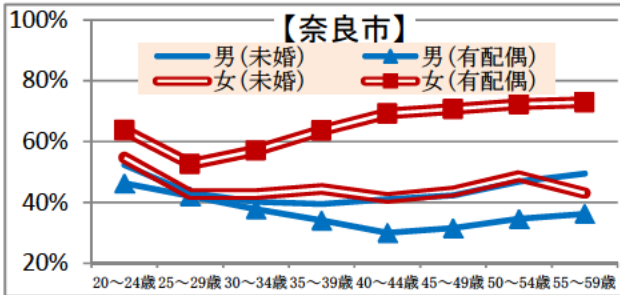
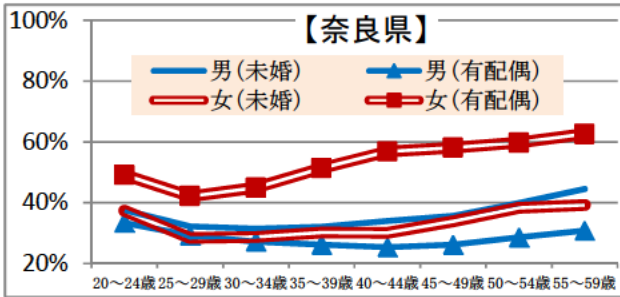
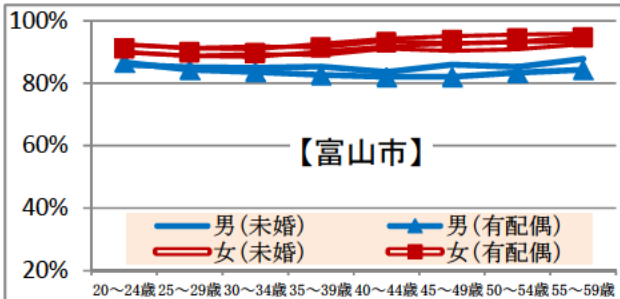
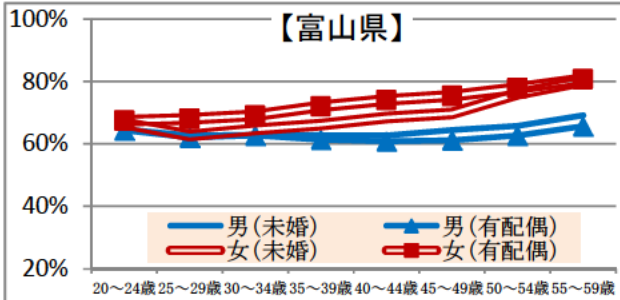
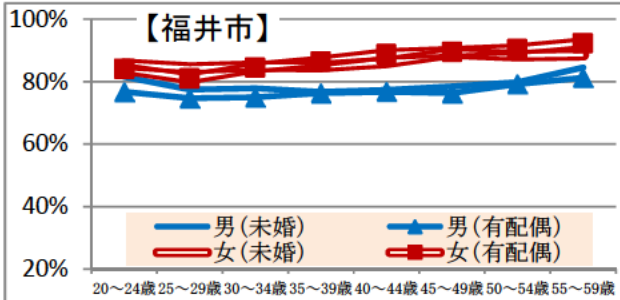
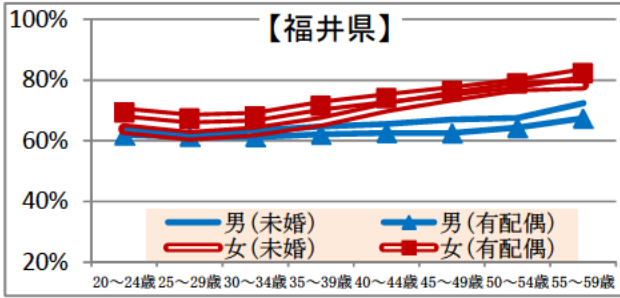
56.3%



57.9%

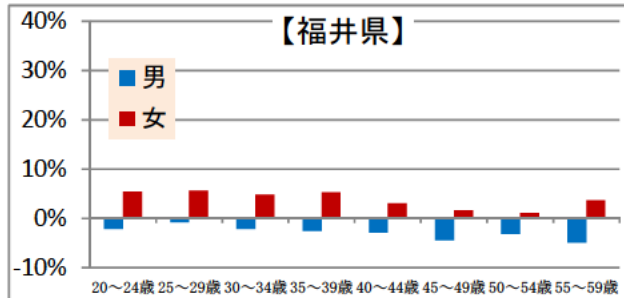
(参考2) 他県(福井県、富山県、奈良県)

<市内勤務率>

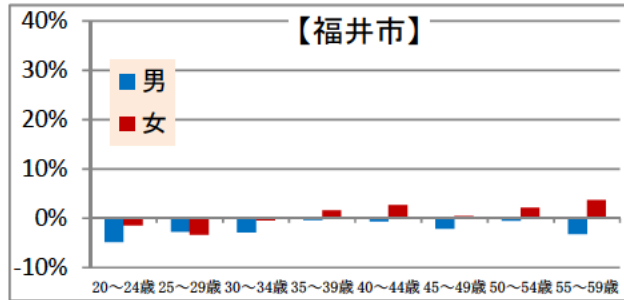


<市内勤務率の差>

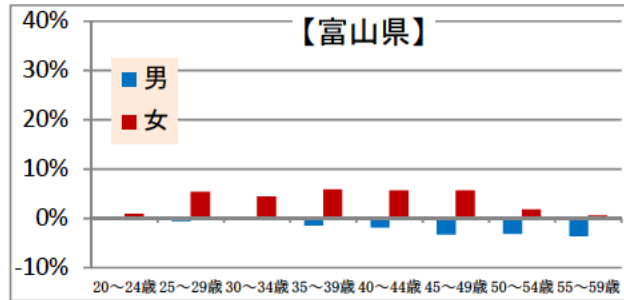
有配偶女性の就業率
35~39歳



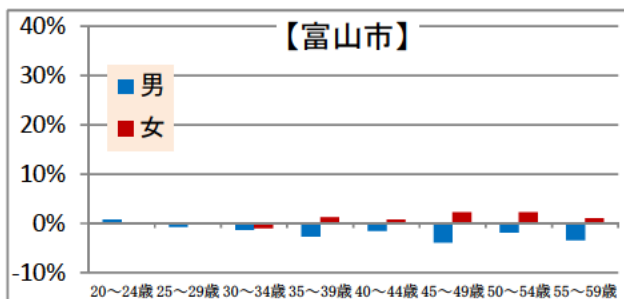
73.5%



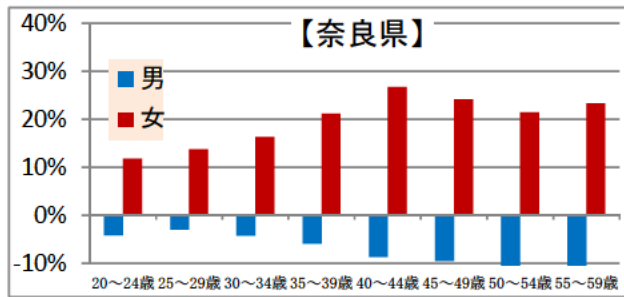
70.9%



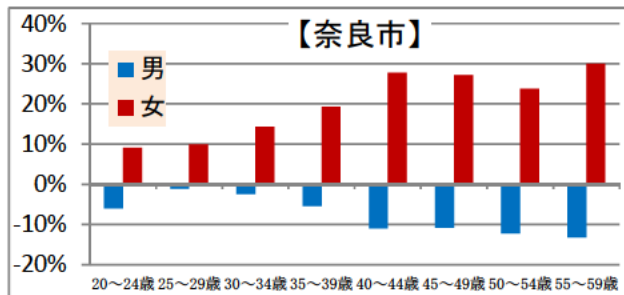
73.0%



67.8%



44.8%



43.5%